

平成26年度 第38回全国高等学校ハンドボール選抜大会

戦 評 用 紙

試合番号

あ

男子・女子 1回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 スカイホール豊田C コート 岡崎中央総合公園総合体育館 コート

<u>氷見</u>		<u>26</u>		<u>17</u> — <u>7</u>		<u>18</u>		<u>大谷</u>
チーム名		総得点		9 — 11		総得点		チーム名
				7mTC				

今大会、初出場の近畿ブロック代表の大谷と、選抜2年連続17回目の出場、北信越ブロック代表の氷見との戦いは第一試合ということもあり、開始後しばらく膠着状態が続いたが氷見は3番藤、大谷は2番多田を中心に得点を重ねていく。前半10分までは互角の戦いながら、13分から氷見が7連続得点を奪い、試合の主導権を握る。大谷もポストを絡めた攻撃で対抗するものの、氷見14番の連続得点もあり、氷見が10点リードで折り返す。後半も氷見の連続得点でスタートし、そのまま氷見の一方向的展開になると思われたが、氷見の退場をきっかけに大谷が反撃を開始し、後半は一進一退の攻防になる。大谷は最後まで粘り強く戦うものの、氷見も落ち着いて得点を重ね、前半の得点差をいかして逃げ切った。